
参考資料 2 市民意見

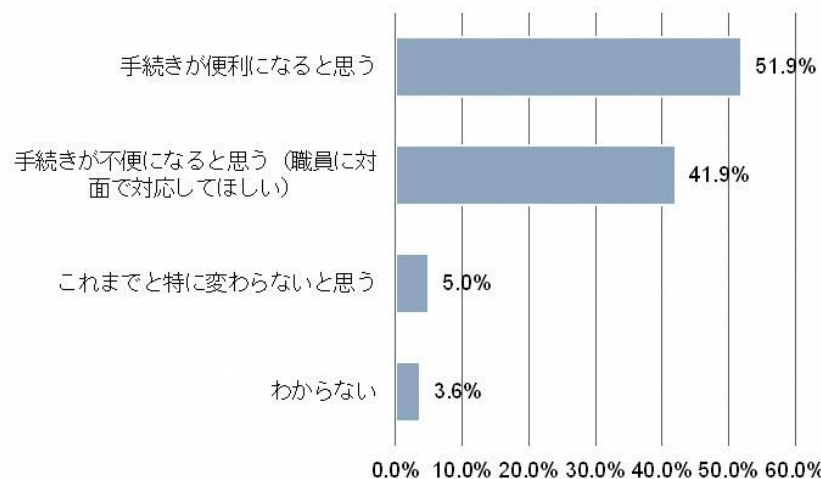
- ・ R 3 年度来庁者アンケート
- ・ R 4 年度パブリックコメント

清水庁舎整備事業に係る市民意識（R3年度調査:来庁者アンケート）

① 行政手続きのデジタル化について

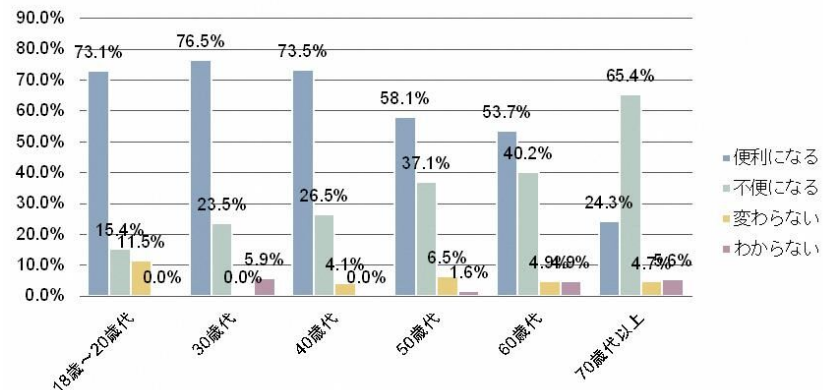
■ 行政手続きのデジタル化に対する市民の感じ方

問8 行政手続きのデジタル化について



(n=360)	件数	割合
手続きが便利になると思う	187	51.9%
手続きが不便になると思う(職員に對面で対応してほしい)	151	41.9%
これまでと特に変わらないと思う	18	5.0%
わからない	13	3.6%

■ 行政手続きのデジタル化について (年齢別)



	回答者数	便利になる	不便になる	変わらない	わからない
18歳～20歳代	26	73.1%	15.4%	11.5%	0.0%
30歳代	34	76.5%	23.5%	0.0%	5.9%
40歳代	49	73.5%	26.5%	4.1%	0.0%
50歳代	62	58.1%	37.1%	6.5%	1.6%
60歳代	82	53.7%	40.2%	4.9%	4.9%
70歳代以上	107	24.3%	65.4%	4.7%	5.6%

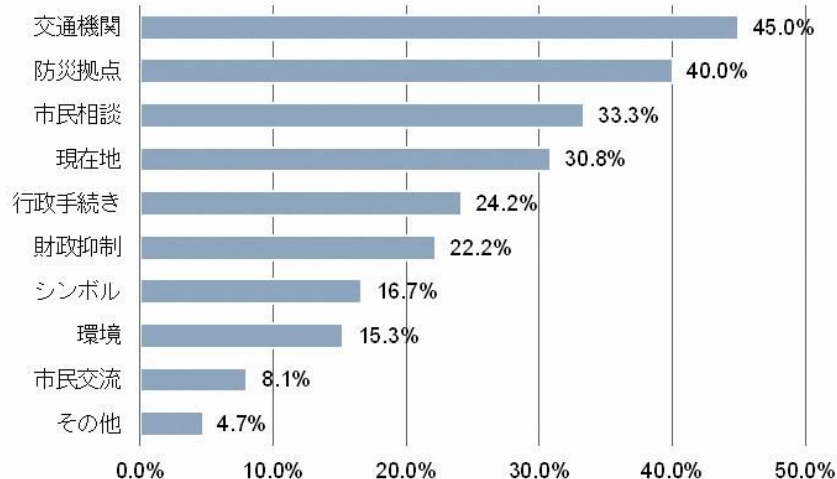
- 回答者の半数以上は行政手続きのデジタル化によって「手続きが便利になる」と感じている。
- 一方、「不便になる（職員に對面で対応してほしい）」と感じる人の割合は、年代の上昇とともに増加する。60歳代まではデジタル化によって便利になると感じる人の割合が不便になると感じる人の割合よりも多いが、70歳代以上では反対に不便になると感じる人の割合が多い。

清水庁舎整備事業に係る市民意識（R3年度調査:来庁者アンケート）

② 将来の庁舎について重視すること

■ 庁舎の整備・運用のあり方について、市民の重視する項目

問9 将来の庁舎の整備や運用において、重視すること



- 回答者が重視する項目は、
 - ①公共交通機関の利用しやすい場所、
 - ②災害時の防災拠点、
 - ③市民生活の相談窓口、
 - ④現在の場所、の順。
- 「行政サービスの拠点」と「防災拠点」に関する内容が上位を占めている。

(n=360)	件数	割合
公共交通機関を利用しやすい場所であること	162	45.0%
災害時の防災拠点であること	144	40.0%
市民生活全般について相談できる窓口があること	120	33.3%
現在の場所であること	111	30.8%
行政手続き以外に特に重視することはない(行政手続きがスムーズに行えることが大事)	87	24.2%
古くても長く使用する等、財政負担を抑制すること	80	22.2%
まちのシンボルであること	60	16.7%
環境にやさしいこと	55	15.3%
市民同士の交流の場であること	29	8.1%
その他	17	4.7%

清水庁舎整備事業に係る市民意識（R3年度調査:来庁者アンケート）

③ 自由意見

本アンケートでは、延べ240件の自由意見があった。**新方針(現庁舎改修)に関連する**主な意見は下記のとおり。

<庁舎の場所に関する意見>

- 現在の場所、JR駅の所でも特に問題ないと思う。清水の土地柄なので、どこも同じだと思う。
- JR清水駅にあったら便利で、皆が使えて良いのではないかな。
- 現在の場所が便利で良い。
- 現在の場所でないこと。災害があっても防災の拠点になるのだから、きちんと機能する所であってほしい。

<財政負担の抑制に関する意見>

- 現在の場所で、この庁舎をうまく利用して使ってほしい。税金の無駄使いにならないように！
- 建設費用を低く抑えてほしい。
- お金があるならいいが、今は違う。出来た頃に古いものになって費用がかかるようなことが無いように。

<災害対策・防災性能に関する意見>

- 現状の場所でも、移転でも良いが、防災に強いしっかりとしたものを造ってほしい。
- 耐震設備をしっかりと充実してほしい。あえて建替える必要はないと思う。
- 災害時防災を重視してほしい。お年寄りの方がかけつけて来た時もすぐ対応できるようにしてほしい。

<駐車場、行政サービスに関する意見>

- 駐車場1台の幅が狭い、駐車場を広くしてほしい、駐車場の分散化が不便、など同種意見多数。
- 近所の公民館で出来る事をふやしてほしい。仕事を持っていると中々来れない。
- 図書館やその他公共施設もまとめて、総合的に考えてほしい。
- 市民の相談をいつも受け入れてくれるよう、窓口を広くしてほしい。 完全バリアフリーを望む。
- 規模を大きく、職員も多く必要だし、部署も多面的に置いてほしい。

改修にあたり求める機能（R4年度:パブリックコメント）

■行政サービス関連

（交通）

- ・ 庁舎までの見やすい看板や使いやすい道路の整備
- ・ 駐輪場の拡張

（窓口サービス）

- ・ 受付と担当部署の連携やスムーズな動線の強化
- ・ 職員の作業の様子（デスク）が見える開放的な窓口
- ・ 外国人や障がいのある人に対してバリアフリーや点字・手話ができる職員・通訳ができる職員などの配置
- ・ 窓口や相談室などにおけるプライバシーの確保（完全に区切られたスペース）

（デジタル）

- ・ DX、リモートワークなどの環境整備
- ・ 特別な手続き、相談ごと以外は庁舎に行かなくても手続き等完了出来るシステム / 高齢者の人でも簡単に利用できるシステム

■防災関連

- ・ 津波避難場所
- ・ 避難所機能
- ・ エレベーター内にトイレ機能を設置
- ・ 業務継続の観点から、電気室やサーバ室は高層階に設置
- ・ ハード面ではなくソフト面の充実（防災備蓄量の増加）

■まちづくり関連

（外観・内観）

- ・ 照明や内装をできるだけ明るく / 開放的・明るい・暖かいという印象の空間
- ・ 堅苦しくなく入りやすい外観

（市民利用スペース）

- ・ 区役所の待合スペースの充実
- ・ フリースペース（ホール）でのマルシェ開催
- ・ 学生のための「自習スペースやカフェ」
- ・ 子育て世代のための「相談窓口や託児スペース」
- ・ WiFi、コワーキングスペース、コミュニティスペース
- ・ ふれあいホールを市民に開放

（カフェ、休憩スペース等）

- ・ 公園、カフェスペース
- ・ 食堂やカフェ（地元ならでは）の強化・充実
- ・ 展望ロビー、景色のよいテラス

（観光・情報発信等）

- ・ 市内にある店や観光スポット、イベントの紹介
- ・ 「清水にはどんなものがあるのか」を知ることができる
- ・ 民間情報の発信コーナー
- ・ 外壁にプロジェクションマッピング